

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010060

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3 国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	5 地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	病院環境整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成26年度	担当課	14 国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	環境を整備すべき病院施設数		#N/A	
事業目標	1施設	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟及び病院環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・2階病棟冷房設備整備 ・医局他冷房設備整備(4箇所) ・医局等設置テレビの更新(3台) ・PBX・ナースコール装置更新 ・温冷配膳車更新 ・自動食器洗浄機更新 ・業務用冷凍冷蔵庫更新 ・製氷機更新 ・アイスディスペンサー、給茶機更新 ●旧医師住宅等解体撤去 	<ul style="list-style-type: none"> ●2階病棟冷房設備整備 ●医局他冷房設備整備(4箇所) 	<ul style="list-style-type: none"> ●患者用ベッドの更新(10台) 	<ul style="list-style-type: none"> ●PBX装置更新 ●旧医師住宅等解体撤去(2戸) ●業務用冷凍冷蔵庫更新 	<ul style="list-style-type: none"> ●温冷配膳車更新(2台) ●自動食器洗浄機更新 ●製氷機更新 ●特別食・行事食用食器購入 ●患者用ベット更新 ●透析更衣室間仕切り壁改修 ●電算サービス室ヒートポンプ 入替え工事 	<ul style="list-style-type: none"> ●アイスディスペンサー、給茶機更新 ●外来処置室用全自動製氷器購入 	
	事業費(千円)	57,782	12,760	5,802	21,240	16,750	1,230
計 画 事 業 費	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	33,900			16,000	1,200	
	その他	0					
	一般財源	23,882	12,760	5,802	5,240	50	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	48,472	11,256	4,407	32,809	0	
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	26,000			26,000		
	その他	0					
一般財源	22,472	11,256	4,407	6,809			
関 連 事 項	特定財源の名称 病院事業債 過疎債	(実施内容等) ●2階病棟冷房設備整備 ●医局他冷房設備整備	(実施内容等) ●患者用ベッドの更新(10台)	(実施内容等) ●業務用冷凍冷蔵庫更新 厨房機器、電話交換機装置、 旧医師住宅解体撤去、 冷温水機整備	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値 1施設	1施設	1施設	1施設	1施設	
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率 88%	76%	154%	0%	0%	
	(継続無し)	全体達成率 19%	27%	84%	84%	84%	
	備考欄						

事業名	病院環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	齋藤 康志

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民(入院患者)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)									
【抱える課題やニーズは】	厨房機器の経年劣化、ナースコール更新と併せ交換機の更新、冷温水機整備について、入院患者の治療に影響を与える恐れが生じているとともに、老朽化に伴い、放置することで危険が伴う恐れがあることから、旧医師住宅の解体撤去を行い、環境について改善を図る必要がある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	入院患者の治療改善及び住宅環境の改善を図ることができる	① 入院患者の環境整備及び旧医師住宅解体撤去に伴う整備	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成27年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成27年度	目標値	1施設	実績値	1施設	達成度	100.0%
目標年度	平成27年度										
目標値	1施設										
実績値	1施設										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	入院患者の環境改善により、安定した医療サービスの提供が図れるとともに、老朽化した旧医師住宅の解体撤去により、近辺の環境改善が図れる	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成27年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成27年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成27年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	電話交換機装置更新	入札による事業執行									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	入院患者が安心して治療を行なうため、必要な事業である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	入院患者が安心して治療に専念できる環境づくりが出来たこと並びに旧医師住宅の解体撤去により、倒壊等の危険が解消できたので有効である
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	購入費等の精査並びに入札執行により、事業費の抑制が図られた
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	入院患者に受益が及ぶため公平性については支障ない
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
入院患者及び旧医師住宅解体撤去整備事業が計画どおり執行することができた		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も入院患者等が安心して治療に専念できる環境整備は必要である		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止